

## ④被災地域の再生・活性化に向けた取組

### 東日本大震災復興支援ファンドの組成

(日本政策投資銀行)

#### 【概要】

被災地域の早期復興への支援を行うため、劣後ローンや優先株等を活用したりリスクマネーを提供するファンドを地方銀行と共同で設立。また、投融資先個社の支援に加え、地域の面的再生への取組を実施。

#### 背景と経緯

東日本大震災による被災により一時的に業績が低迷しているものの、当該地域の復興に欠かせない地域の有力企業に対して、劣後ローンや優先株等を活用したりリスクマネーを提供し、被災地域の早期復興のための支援を行うファンドを被災地域の地方銀行と共同で設立した。

#### 具体的な取組

被災地域4県（岩手県、宮城県、福島県、茨城県）の地方銀行と共同し、以下の東日本大震災復興ファンドをそれぞれ組成。また、日本政策投資銀行（DBJ）はファンドの運営会社として(株)東北復興パートナーズ及び(株)SFGパートナーズを設立した。

表1  
ファンドの概要

名称	岩手 元気いっぱい 投資事業 有限責任組合	ふくしま 応援ファンド 投資事業 有限責任組合	みやぎ 復興ブリッジ 投資事業 有限責任組合	いばらき 絆 投資事業 有限責任組合
ファンド規模	50億円（当初）	50億円（当初）	50億円（当初）	50億円（当初）
設立	平成23年8月	平成23年8月	平成23年8月	平成23年9月
無限責任組合員（GP）	(株)東北復興パートナーズ			(株)SFGパートナーズ
有限責任組合員（LP）	DBJ (株)岩手銀行	DBJ (株)七十七銀行	DBJ (株)東邦銀行	DBJ (株)常陽銀行

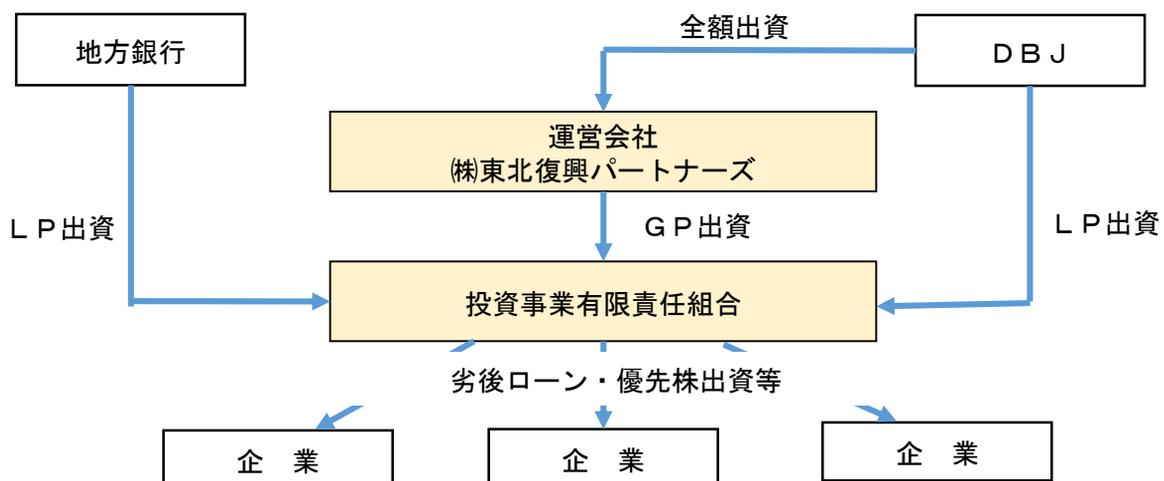


図1 ファンドのスキーム図（岩手、宮城、福島）

これまで4ファンド合計で46件の投融資を決定した（平成27年3月に投資期間終了）。また、投融資先個社の支援だけでなく、被災地域の面的再生につながる取組（下記）を実施。

表2 ファンドの投融資事例

区分	社名	概要
岩手 ファンド	ミネックス(株)	水田の土壌改良用肥料等の製造販売事業者(釜石市)。東北地方を中心とした農家への供給責任を果たすべく、平成23年9月に一部操業再開
〃	太洋産業(株)	「タイサン」のブランド名で全国的に親しまれている水産食品メーカー。主力工場のひとつである大船渡工場が全壊したが、順次工場再開
宮城 ファンド	(株)ホットマン	宮城、岩手、福島県等でカー用品専門店「イエローハット」等を展開するメガフランチャイジー企業。沿岸部の一部店舗等が津波により流失
〃	(株)ムラタ	フカヒレ及びサメのすり身を扱う気仙沼所在の水産加工業者。津波により全ての事業所を喪失
福島 ファンド	常磐興産(株)	スパリゾートハワイアンズ等の運営事業者。平成23年10月に部分開業後、翌年2月に震災時建設中であった新ホテルを含め全面開業
〃	末廣酒造(株)	1850年創業の会津地域を代表する清酒蔵元。震災の直接被害は軽微であったものの、原発事故の風評被害で様々な影響
茨城 ファンド	日東自動車機器(株)	電子制御式スロットル装置部品等のダイカスト製品を製造する自動車部品メーカー(茨城町)

## 【取組事例】 学生が考える会津日本酒プランコンテスト

ファンド投資先である末廣酒造の企業価値向上策の検討にあたり、若年層への清酒の浸透度の低さという課題への対応をDBJが提案。

酒造協同組合、福島県、会津若松市、学生団体等と協力し、平成26年2月にコンテストを実施。福島大学の「二十歳の親子酒」（親子で成人を祝う機運を創る）が最優秀賞を受賞。当企画が復興庁の「企業連携プロジェクト支援事業」に採択され、復興プロジェクトとして事業化検討が進み、平成27年1月に商品化。会津若松市の成人式で新成人に無料配布された。

「清酒」という地域資源の顧客層拡大を通じて地域活性化、地域産業再生につながる取組を創出。

## 今後の課題

震災復興のフェーズが「復旧」から「復興・成長」に移行しつつあることに対応し、DBJは地方銀行及び(株)地域経済活性化支援機構と共同で「東日本大震災復興・成長支援ファンド」を設立した。新たな課題に対応するための連携、資金供給の仕組みを構築していく。



### Point | 支援実施のポイント／横展開にあたっての示唆

**支援実施のポイント①** 地方銀行とDBJが互いの強みを活かすことにより、有効かつ効率的な支援を実施。

**支援実施のポイント②** 被災企業の復興・成長に加え、被災地の面的再生や他地域への横展開につながる取組を創出。